

令和8年7月22日

分任契約担当官
陸上自衛隊奄美駐屯地
第443会計隊長 林 勝之

第443会計隊におけるオープンカウンター方式による見積り依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要項に基づく手続きが必要です。
- 2 本方式は、随意契約を前提とした見積り依頼であり、有効な見積り書をもって申し込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積り書をもって申し込みをした者を契約の相手方とします。

3 件名リスト

一連 番号	件 名	納入（履行） 場所	納期 （履行期限）	見積り依頼書 公表日	見積り書 提出期限	見積り合わせの 日時	防衛省競争 参加資格	備 考
16	奄美（08）202号建物 貫流ボイラー等点検整備 ほか1件	各 地	8.10.30	8.7.22	8.8.5 1000	8.8.5 1000	無	
	以下余白							

4 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先

〒894-0001

住所 鹿児島県奄美市名瀬大字大熊266-49

契約機関名（担当） 陸上自衛隊奄美駐屯地 第443会計隊 契約班（桐原）

電話番号（内線） 0997-54-1060（354）

FAX番号（内線） 0997-54-1066（344）

メールアドレス 443fin_wafin-wa@inet.gsdf.mod.go.jp

仕 様 書

件 名	奄美 (08) 202号建物 貫流ボイラー等点検整備	作成部隊	奄美駐屯地業務隊
		作成日	令和8年7月13日

1 場 所

鹿児島県奄美市名瀬大字大熊266番49
陸上自衛隊 奄美駐屯地202号建物

2 期 間

契約締結日 ～ 令和8年10月30日

3 概 要

(1) 多管式貫流ボイラーの点検整備及び軟化装置の分解整備作業を行う。

ア 貫流ボイラー規格

	規 格
型 式	多管式貫流ボイラー SU-200
製 造	三浦工業株式会社
最高使用圧力	0.98MPa
伝 熱 面 積	3.9㎡
相 当 蒸 発 量	200Kg/h
燃 料	灯油

イ 軟化装置規格

	規 格
型 式	軟水装置 MS-10
製 造	三浦工業株式会社

4 一般事項

- (1) 整備作業は、本仕様書によるほか技術上必要な事項について請負業者において実施する。
- (2) 仕様書及び整備作業に疑義が生じた場合は、係官と調整し指示に従う。
- (3) 本作業に際し、他の構造物に損傷を与えないよう十分注意するのとし万一損傷を与えた場合は、請負業者の責任において原型復旧するものとする。
- (4) 本作業に際し事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するのとし、万一災害等が発生した場合は、請負業者の責任において処置するものとともに、すみやかに係官に報告する。
- (5) 本作業の写真は、カメラ（カラー）またはデジタルカメラ（ファイル形式JPEG）を使用し、作業前・作業中・作業後など主要な作業段階ごと撮影し、写真台帳に整理のうえ係官に提出する。
- (6) 本作業は、ボイラー整備士立会のもと実施するものとする。
- (7) 作業前に、ボイラーまたはボイラー周辺を汚損することないようにシート等で養生する。
- (8) 作業完了後は、現場の清掃を実施する。

5 特記事項

- (1) 作業予定日は令和8年9月3日（木）を基準とし、予備日は後日調整する。
- (2) 本作業において、別に示すボイラー部品を点検整備にあわせて交換するものとする。ボイラー部品については、受注者で準備するものとする。
- (3) 検査
作業完了後、係官及び請負業者の立会のうえ完了検査を実施する。
- (4) 本作業に必要な電気・水についてはすべて有償とし、請負者によるメーターの設置又は官側の示する方法により使用量を算定する。
- (5) 本役務で発生した産業廃棄物については、法令等を遵守し適正に処分し、マニフェスト（E票）を提出するものとする。また、鉄くず類については官側へ引き渡すものとする。

6 点検項目表

多管式貫流ボイラー (SU-200)

点検項目	点検及び保守内容	点検時期	点検項目	点検及び保守内容	点検時期
本体 関係	スケール (上部・中部・下部)	9 月	制御 関係	送風機の作動状況	9 月
	腐食 (上部・中部・下部)			オイルポンプの作動状況	
	ピッチング (上部・中部・下部)			給水ポンプ 電流測定値 (A)	
	缶体への煤付着			サーマル測定値 (A)	
	キャスタの状況		送風機 電流測定値 (A)		
	エブレジスタの状況		サーマル測定値 (A)		
	ウインドボックスの増し締め		電源電圧 (V)		
	ウインドボックス断熱材の状況		軟化 装置 関係	軟水チェック	
	ボルトナットの増し締め			ストレーナの状況	
	安全弁の状況 (吹き出し・交換・目視)			再生動作状況	
	蒸気・水漏れの状況			塩水タンク状況 (補充状況・塩橋)	
燃焼ガス漏れの状況	タイマ時刻 (定刻・進・遅) (h)				
ケーシング温度の状況	通水時原水圧力 (MP a)				
銅パイプの状況	薬注 装置 関係		薬品の漏れ状況		
給水 関係			給水ストレーナの状況	薬注ダイヤル目盛 (%)	
			電極保持器 掃除・交換 (L・S)	ロックナット増し締め	
			水位検出棒固定状況	ストップバルブ開閉確認	
	給水ポンプのメカ漏れ状況		薬品調合量変更		
	逆止弁の作動状況		調整 測定 項目	油圧 (MP a) 基準値	
送風機 関係	吸込口の状況			ダンパ開度	
	異常音・異常振動の発生状況			排ガO2 (%) 基準値	
バーナ 関係	プラグキャップの状況			スモーク度 基準値	
	点火コードの曲げ試験			炉圧 (K P a・mmA p) パージ時	
	点火トランス端子の増し締め	燃焼時			
	炎センサ保護ガラスの状況	排ガス温度 (℃)			
	着火端子の状況	炎センサー (V・kΩ) 停止時			
	バーナ部の汚れ状況	燃焼時			
	バッフル板の状況	給気温度 (℃)			
	バーナ寸法	給水温度 (℃)			
	ノズルチップ・カットオフ弁の状況	防火 チェ ック 関係	本体まわり		
	ノズルチップ規格 (G/°)		排気筒接合部からのガス漏れ		
スパークテスト	蒸気配管				
燃料 関係	オイルストレーナの状況	各配線端子の増し締め	その 他	採水 (原水・軟水・給水)	
	燃料漏れの状況	各配線の劣化状況・高温部との接触		(ボイラー水・その他)	
制御 関係	蒸気圧力スイッチ 測定値 (MP a)	その 他	その 他	雨じまい・排気筒の状況	
	diff (MP a)			運転ランプの点灯状況	
	作動状況			低水位ランプの点滅・点灯状況	
	低水位遮断確認			燃焼ランプの点灯・点滅状況	
	不着火遮断確認				
	途中消炎遮断確認				
	擬似炎遮断確認				
	蒸気サーモ 作動温度 (℃)				
	作動圧力 (MP a)				
	排ガスサーモ 作動状況				
給水ポンプモータインタロック					
バーナモータインタロック					
給水ポンプの作動状況					

2 / 5

7 交換部品

(1) 多管式貫流ボイラー (SU-200) 及び付属部品

項目	品 名	規 格	数量
1	着火碍子	NT-65	1 個
2	カットオフ弁	COV6A 1K	1 個
3	点火コード (ライカル)	L400 M5X7230-1140	2 個
4	ノズルチップ	60° AX3 50G	1 個

(2) 軟水装置樹脂交換部品

項目	品 名	規 格	数量
1	陽イオン交換樹脂		10 ㍔
2	集水管 ASSY	MS-10	1 個
3	モータ ASSY	MS-5...15 60Hz	1 個
4	サブバブルASSY (ドレン)	MS-5...15	1 個
5	サブバブルASSY (ブライン)	MS-22N	1 個
6	塩水バルブ ASSY	MS-10	1 個
7	ピストンスペーサー ASSY	MS-5 (白) NI No.j4ナチュラル	1 個



陸上自衛隊奄美駐屯地

奄美カントリークラブ

名瀬龍郷線

秋名川

名瀬大熊

名瀬徳洲会病院
奄美市立朝日中学校

県道81号

県道81号

有屋川
名瀬
有屋

浦上川

国道58号

本茶峠

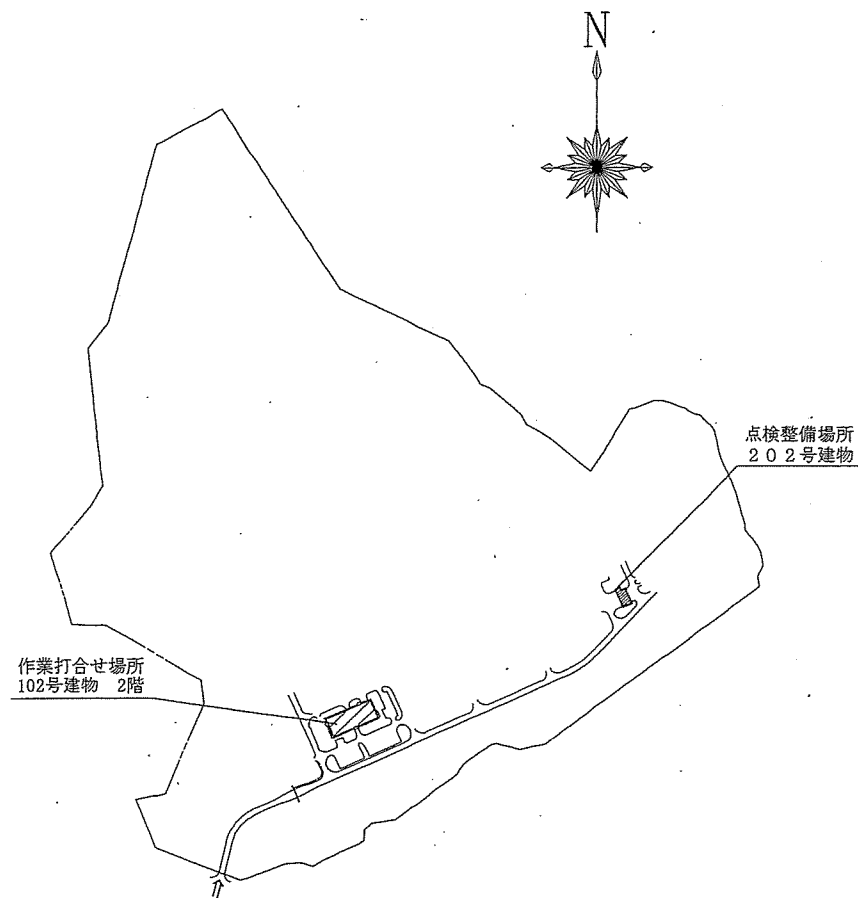
名瀬大字裏上

名瀬 浦上

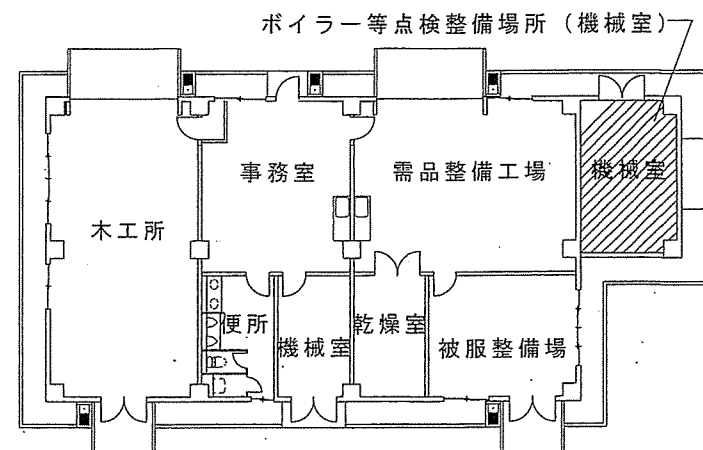
国道58号

名瀬 沖勝

奄美駐屯地	
案 内 図	
図面番号	4 / 5



駐屯地配置図



202号建物平面図

奄美駐屯地	
配置図、平面図	
図面番号	5 / 5

仕 様 書

件 名	瀬戸内 (08) 102号・203号建物他 貫流ボイラー等点検整備	作成部隊	奄美駐屯地業務隊
		作成日	令和8年7月13日

1 場 所

鹿児島県大島郡瀬戸内大字節子684-2
陸上自衛隊 瀬戸内分屯地 102号、203号建物

2 期 間

契約締結日 ～ 令和8年10月30日

3 概 要

(1) 多管式貫流ボイラーの点検整備及び軟化装置の分解整備作業を行う。

ア 貫流ボイラー規格

	102号建物 (厚生施設)	203号建物 (需品整備工場)
型 式	多管式貫流ボイラー SU-400	多管式貫流ボイラー SU-200
製 造	三浦工業株式会社	三浦工業株式会社
最高使用圧力	0.98MPa	0.98MPa
伝 熱 面 積	4.9m ²	3.9m ²
相 当 蒸 発 量	400Kg/h	200Kg/h
燃 料	灯油	灯油

イ 軟化装置規格

	102号建物 (厚生施設)	203号建物 (需品整備工場)
型 式	軟水装置 MS-22N	軟水装置 MS-10
製 造	三浦工業株式会社	三浦工業株式会社

4 一般事項

- (1) 整備作業は、本仕様書によるほか技術上必要な事項について請負業者において実施する。
- (2) 仕様書及び整備作業に疑義が生じた場合は、係官と調整し指示に従う。
- (3) 本作業に際し、他の構造物に損傷を与えないよう十分注意するものとし万一損傷を与えた場合は、請負業者の責任において原型復旧するものとする。
- (4) 本作業に際し事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するものとし、万一災害等が発生した場合は、請負業者の責任において処置するものとともに、すみやかに係官に報告する。
- (5) 本作業の写真は、カメラ (カラー) またはデジタルカメラ (ファイル形式J P E G) を使用し、作業前・作業中・作業後など主要な作業段階ごと撮影し、写真台帳に整理のうえ係官に提出する。
- (6) 本作業は、ボイラー整備士立会のもと実施するものとする。
- (7) 作業前に、ボイラーまたはボイラー周辺を汚損することないようにシート等で養生する。
- (8) 作業完了後は、現場の清掃を実施する。

5 特記事項

- (1) 作業予定日は203号建物を令和8年9月4日 (金)、102号建物を令和8年9月4日 (金) とし、予備日は令和8年9月9日 (水) とするも、詳細は係官と調整するものとする。
- (2) 本作業において、別に示すボイラー部品を点検整備にあわせて交換するものとする。ボイラー部品については、受注者で準備するものとする。
- (3) 検査
作業完了後、係官及び請負業者の立会のうえ完了検査を実施する。
- (4) 本作業に必要な電気・水についてはすべて有償とし、請負者によるメーターの設置又は官側の示す方法により使用量を算定する。
- (5) 本役務で発生した産業廃棄物については、法令を遵守し適正に処分し、マニフェストの写し (E票) を提出するものとする。また、鉄くず類については、官側へ引き渡すものとする。

6 点検項目表

多管式貫流ボイラー (SU-400、SU-200)

点検項目	点検及び保守内容	点検時期	点検項目	点検及び保守内容	点検時期
本体 関係	スケール (上部・中部・下部)	9 月	制御 関係	送風機の作動状況	9 月
	腐食 (上部・中部・下部)			オイルポンプの作動状況	
	ピッチング (上部・中部・下部)			給水ポンプ 電流測定値 (A)	
	缶体への煤付着			サーマル測定値 (A)	
給水 関係	キャスタの状況			送風機 電流測定値 (A)	
	エブレジスタの状況			サーマル測定値 (A)	
	ウインドボックスの増し締め		軟化 装置 関係	電源電圧 (V)	
	ウインドボックス断熱材の状況			軟水チェック	
	ボルトナットの増し締め			ストレーナの状況	
	安全弁の状況 (吹き出し・交換・目視)			再生動作状況	
	蒸気・水漏れの状況		薬注 装置 関係	塩水タンク状況 (補充状況・塩橋)	
	燃焼ガス漏れの状況			タイマ時刻 (定刻・進・遅) (h)	
	ケーシング温度の状況			通水時原水圧力 (MPa)	
	銅パイプの状況			薬品の漏れ状況	
送風機 関係	給水ストレーナの状況			薬注ダイヤル目盛 (%)	
	電極保持器 掃除・交換 (L・S)			ロックナット増し締め	
バーナ 関係	水位検出棒固定状況	9 月		ストップバルブ開閉確認	9 月
	給水ポンプのメカ漏れ状況			薬品調合量変更	
燃料 関係	逆止弁の作動状況		調整 測定 項目	油圧 (MPa) 基準値	
	吸込口の状況			ダンパ開度	
	異常音・異常振動の発生状況			排ガO ₂ (%) 基準値	
	プラグキャブの状況			スモーク度 基準値	
	点火コードの曲げ試験			炉圧 (KPa・mmAp) パージ時	
	点火トランス端子の増し締め			排ガス温度 (°C) 燃焼時	
	炎センサ保護ガラスの状況			炎センサー (V・kΩ) 停止時	
	着火端子の状況			燃焼時	
	バーナ部の汚れ状況		防火 チェ ック 関係	給気温度 (°C)	
	バッフル板の状況			給水温度 (°C)	
制御 関係	バナー寸法			本体まわり	
	ノズルチップ・カットオフ弁の状況			排気筒接合部からのガス漏れ	
	ノズルチップ規格 (G/°)			蒸気配管	
	スパークテスト			各配線端子の増し締め	
	オイルストレーナの状況			各配線の劣化状況・高温部との接触	
	燃料漏れの状況			採水 (原水・軟水・給水)	
その他	蒸気圧力スイッチ 測定値 (MPa)			(ボイラー水・その他)	
	diff (MPa)			雨じまい・排気筒の状況	
	作動状況			運転ランプの点灯状況	
	低水位遮断確認			低水位ランプの点滅・点灯状況	
	不着火遮断確認			燃焼ランプの点灯・点滅状況	
	途中消炎遮断確認				
	擬似炎遮断確認				
	蒸気サーモ 作動温度 (°C)				
	作動圧力 (MPa)				
	排ガスサーモ 作動状況				
	給水ポンプモータインタロック				
	バーナモータインタロック				
	給水ポンプの作動状況				

7 交換部品

(1) 多管式貫流ボイラー (SU-400) 及び交換用付属部品 (102号建物 厚生施設)

項目	品 名	規 格	数量
1	着火碍子	NT-65	1 個
2	カットオフ弁	COV6A 1K	1 個
3	(メンテ) 点火コード	L=600 SU-300 400F PCI-1280	1 個
4	バップル板 (完)	UX-5	2 個
5	ノズルチップ	45° AX7 00G	1 個

(2) 多管式貫流ボイラー (SU-200) 及び交換用付属部品 (203号建物 需品整備工場)

項目	品 名	規 格	数量
1	着火碍子	NT-65	1 個
2	カットオフ弁	COV6A 1K	1 個
3	点火コード (ライカル)	L=400 MGX7230-1140 400F PCI-1493	2 個
4	覗き窓ガラス	29マルX3T フツウ	1 個
5	ノズルチップ	60° AX3.50G	1 個

8 交換部品

(1) 軟水装置 (MS-22N) 及び交換用付属部品 (102号建物 厚生施設)

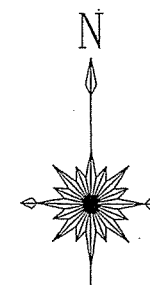
項目	品 名	規 格	数量
1	陽イオン交換樹脂		22 L
2	ろ材珪石		4 L
3	集水管ASSY	MS-22N	1 個
4	モータASSY	MS-5..15 60Hz	1 個
5	サブバルブASSY (ドレン)	MS-5..15	1 個
6	サブバルブASSY (ブライン)	MS-22N	1 個
7	塩水バルブASSY	MS-22N	1 個
8	ピストンスペーサASSY	MS-5 (白) N1 No.19ナチュラル	1 個

(2) 軟水装置 (MS-10) 及び交換用付属部品 (203号建物 需品整備工場)

項目	品 名	規 格	数量
1	陽イオン交換樹脂		10 L
2	集水管ASSY	MS-10	1 個
3	モータASSY	MS-5..15 60Hz	1 個
4	サブバルブASSY (ドレン)	MS-5..15	1 個
5	サブバルブASSY (ブライン)	MS-22N	1 個
6	塩水バルブASSY	MS-10	1 個
7	ピストンスペーサASSY	MS-5 N1 No.19ナチュラル	1 個



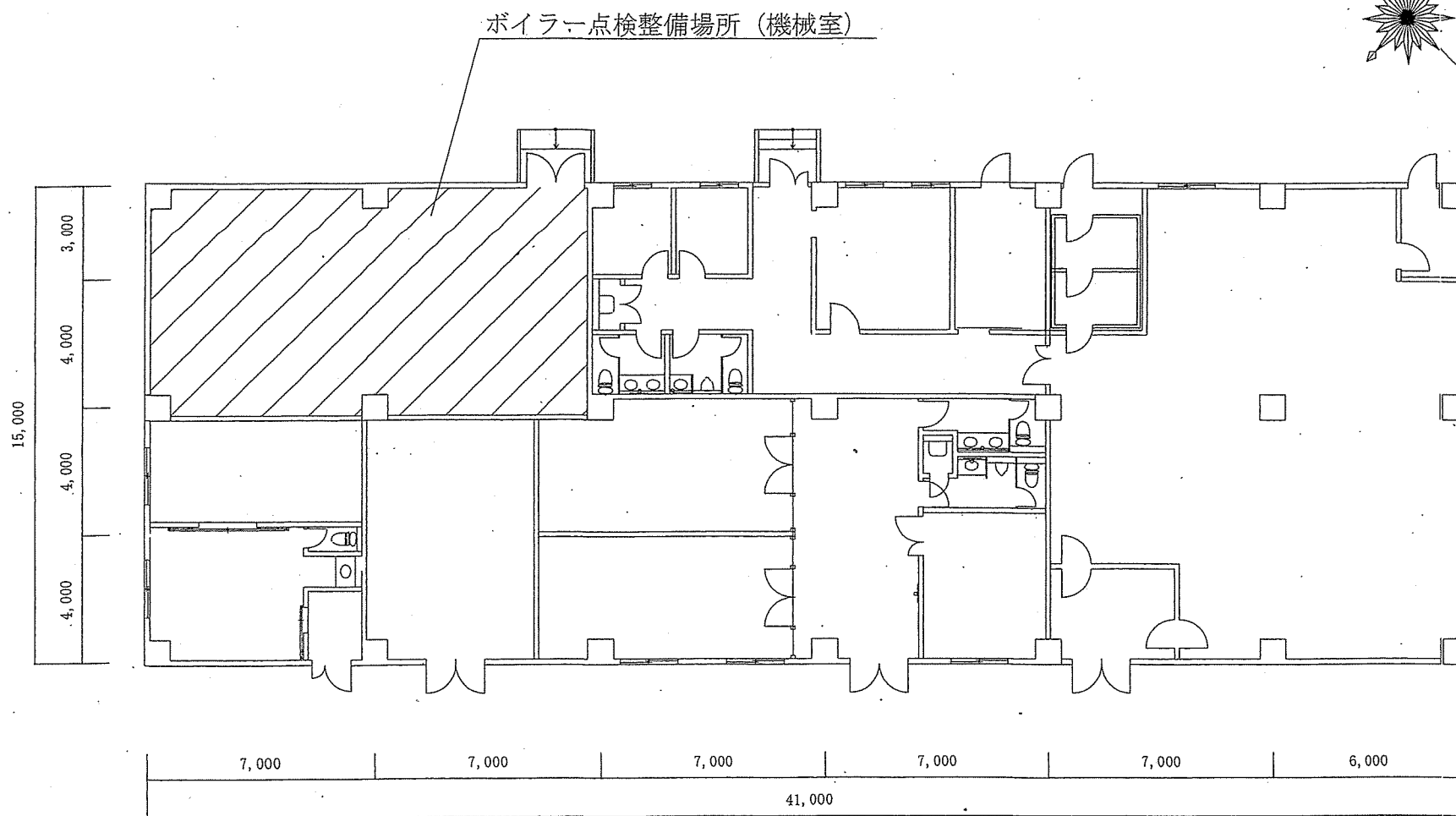
瀬戸内分屯地	
案内図	
縮尺	1/X
図面番号	4/7



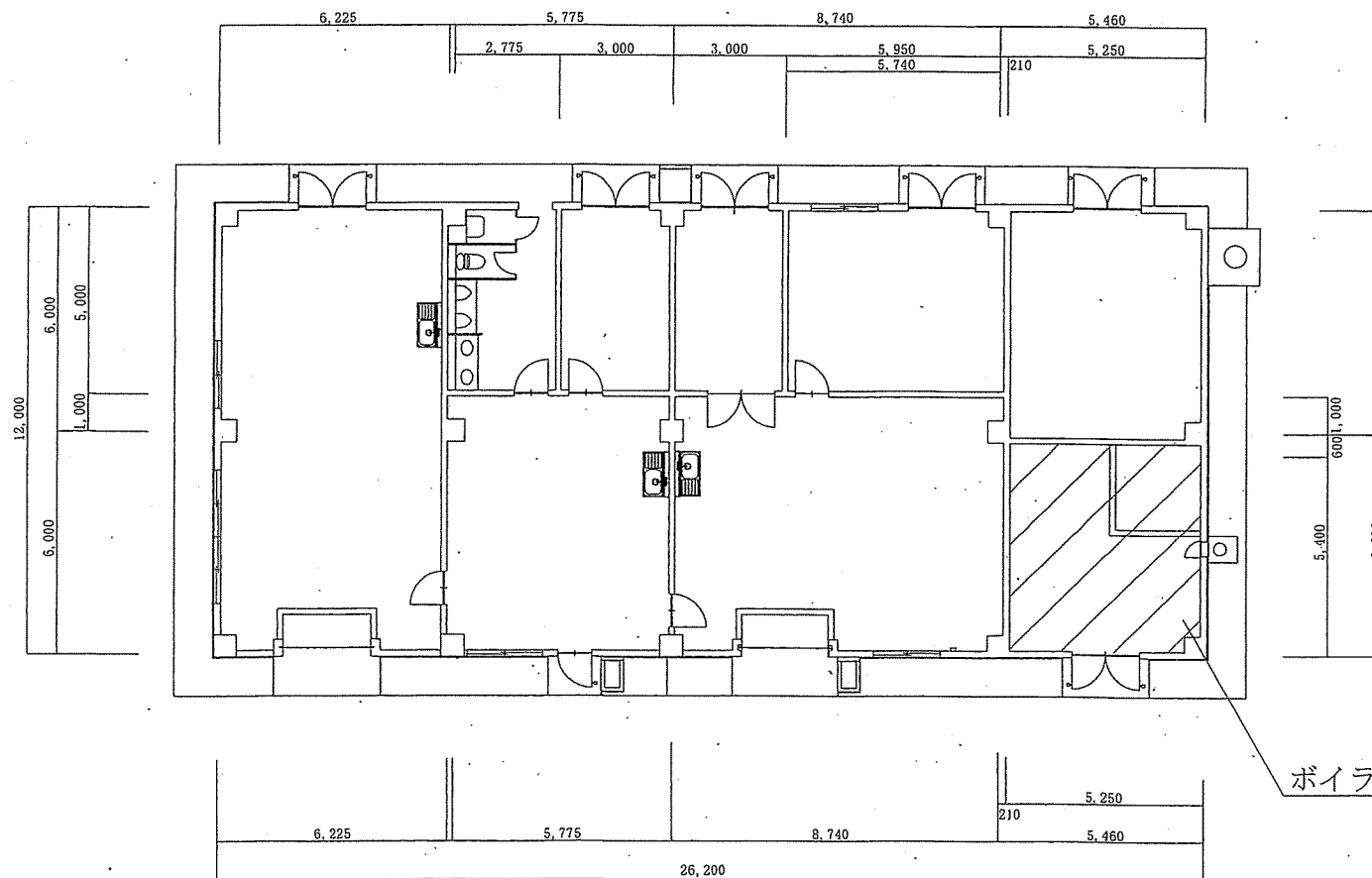
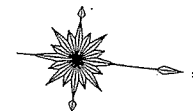
点検整備場所
203号建物

点検整備場所
102号建物

瀬戸内分屯地（管理地区）	
配置図	
縮尺	1/4,000
図面番号	5/7



瀬戸内分屯地	
102号建物平面図	
縮尺	1/200
図面番号	6/7



ボイラー点検整備場所 (機械室)

瀬戸内分屯地	
203号建物平面図	
縮尺	1/200
図面番号	7/7

見 積 書

件名リスト一連番号	16
-----------	----

見 積 金 額 ￥

(消費税及び地方税を含まない。)

品名 (件名)	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
奄美 (08) 202号建物貫流ボイラー等点検整備	仕様書のとおり	ST	1		
瀬戸内 (08) 102号・203号建物他貫流ボイラー等点検整備	仕様書のとおり	ST	1		
	以下余白				
納入 (履行) 場所	各 地	納期 (履行期限)		8.10.30	
契約保証金	(免 除)	見積書有効期間			

上記に関して「入札及び契約心得」、「陸上自衛隊奄美駐屯地オープンカウンター方式実施要領」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上、見積りいたします。また、当社（私（個人の場合）、当団体（団体の場合））は「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和 年 月 日

分任契約担当官
陸上自衛隊奄美駐屯地
第443会計隊長 林 勝之 殿

会社名

代表者名

担当者名

連絡先

(注) 押印を省略する場合には、担当者名及び連絡先を記載すること。